

盛岡 広域振興局長

提出者 盛岡セイコー工業株式会社
 住所 〒020-0596 岩手県岩手郡雫石町板橋61-1
 氏名 代表取締役社長 加藤 幸則

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	盛岡セイコー工業株式会社	*整理番号	.
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県岩手郡雫石町板橋61-1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	4,749 k _l	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
盛岡セイコー工業	岩手県岩手郡雫石町板橋61-1	4,749 k _l
		k _l
		k _l

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業場用)
1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D-C)/D×100		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ					
揮発油	2.16 kℓ	2	2.32 t-CO ₂ /kℓ	5.0	4.9	2		
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ					
灯油	125.4 kℓ	119	2.49 t-CO ₂ /kℓ	312.2	331.1	▲ 6		
軽油	0.55 kℓ	1	2.58 t-CO ₂ /kℓ	1.4	0	#DIV/0!		
A重油	kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	9.3 t	12	3.00 t-CO ₂ /t	27.9	29.7	▲ 6	
	石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³				
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t		2.70 t-CO ₂ /t				
	その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³				
石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t				
	一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t				
	無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t				
石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t					
コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t					
コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³					
高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³					
転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³					
その他の燃料	都市ガス	千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³				
	()	()		t-CO ₂ /()				
	()	()		t-CO ₂ /()				
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ					
小計		134		346.5	365.7	▲ 5		
電気	電気事業者	昼間買電	9595.8 千kWh	2468	0.488 t-CO ₂ /千kWh	4682.8	4376.7	7
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	5537.8 千kWh	1424				
		夜間買電	8967.5 千kWh	2147	0.488 t-CO ₂ /千kWh	4376.1	4092.6	7
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO ₂ /千kWh			
		自家発電	708.7 千kWh					
小計	19272 千kWh	4615		9058.9	8469.3	7		
合計		4749		9405.4	8835	6		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO ₂ /千kWh				
合計								

- 備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
- 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
- 3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。
- 4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。
- 5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

令和3年度の地球温暖化対策計画書より二酸化炭素排出量を毎年度1%以上削減するという目標を掲げており、前年度(令和3年度)から、達成状況の推移としては「R1⇒R2 10%減」、「R2⇒R3 7%減」、「R3⇒R4 ±0%」となった。

※令和4年度は全体生産数が前年度より約7%減少した。しかし、付加価値のある製品(少量)が増産となった為、新規生産機械の導入等もあり、エネルギー使用量は減少しなかった。

エネルギー削減に向け、以下取組を行っている。

- ・省エネ機械への更新
- ・全社不良率削減活動
- ・生産機械稼働の効率化
- ・インフラ設備の高効率機器への更新及び運転効率化の実施
- ・生産ラインのシフト勤務の見直し等
- ・工場内圧縮エア削減及びエア漏れ削減活動によるコンプレッサー電力量削減

昨年に引き続き、PPA事業による自己消費型太陽光発電で、Co2フリーのクリーンな電気を使用しており、電気使用量(昼間買電)を抑えることが出来た。

その他、空調の設定温度や照明のこまめな消灯等の啓蒙活動により、電力量を抑えることが出来た。

【具体的な取組状況】

①空調

- ・C棟ユニットクーラー更新 3台

②生産機械

- ・生産機械の運転効率化→電力量削減(149千kwh)
- ・フィルタープレス機更新

③太陽光発電

- ・PPA事業導入による再生可能エネルギーの自家消費実施(令和4年度 708千kwh)

④『冬の節電チャレンジキャンペーン ～ 部門別省エネチャレンジ ～』実施(7件→24千kwh/月)

- ・各部門で節電案を検討及び実施、節電実施状況を電力量モニタリング→社内公開

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ①「御所湖周辺統一清掃」への参加
- ②「地域とはじめる環境報告会」の開催
- ③「いわて地球環境にやさしい事業所」四つ星認定の維持
- ④「企業の森づくり活動に関する協定」の締結(岩手県、雫石町)
- ⑤「会社周辺環境活動」の実施
- ⑥全国みどりの工場大賞 日本緑化センター会長賞受賞
- ⑦エコスタッフ養成セミナー参加

別紙 その2 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	()	ℓ	2.32 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
軽油	()	ℓ	2.58 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
LPG	()	kg	3.00 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気	()	kWh	0.488 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	0 (0)			kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の()には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項